

平成21年9月19日 一社一村しずおか運動 認定式・草刈り

建設部農地局八木局長はじめ多くの方をお迎えして一社一村しずおか運動の認定式が行われました。(参加者 40名)



中央：静岡県建設部農地局八木局長、右：久留女木棚田の会入谷会長、左：弊社花村社長

久留女木棚田保全で連携

県の「一社一村運動」に

北区の企業、団体を認定

県が二〇〇六年から推進している「一社一村しずおか運動」で新たに浜松市北区引佐町、久留女木棚田の会（入谷重徳会長）と北区初生町、不二総合コンサルタント（花村好治社長）が選ばれ十九日、認定書の授与式が引佐町であった。

同運動は農山村と企業が連携し、それぞれの資源や人材、ネットワークを生かし地域活性化などに向けた活動を展開する。

棚田の会は二〇〇〇年から県棚田十選、国の棚田百選にも選ばれた「久留女木の棚田」の環境保全を含めた保存に努めている。測量、調査の建設総合会社の不二総合コンサルタントは社員同士の親睦や生態系に配慮した技術研修を狙って二〇〇八年度から県の指導を受け農作業活動などに取り組んでいる。

今回の認定は県内で十五例目、県西部では四例目。久留女木の棚田会場で行われた授与式では入谷会長と花村社長が八木武則農地局長から認定書を受け取った。両団体、企業は今後五年間、久留女木の棚田の保全、環境保護活動に当たる。

入谷会長は「棚田も昔は七畝以上あったが今は三畝と減少。会員一同、元気なうちはふるさと伝統の棚田を守っていきたい」と話した。花村社長も「棚田の保護だけでなく社員の交流の場として」と述べた。（佐野和広）



認定書を受けた不二総合コンサルタントの花村社長、久留女木棚田の会の入谷会長は浜松市北区の久留女木の棚田で

認定式の様子が中日新聞に掲載されました。

秋の空、黄金色の稲穂、彼岸花 すっかり秋です。



3ヶ月経つとずいぶんと草も伸びてしまい、草刈りも行いました。



今日は、同時に地滑りの動態調査を GPS を使って行いました。



5月に植えられた稲。2～3週間で収穫です。 と、K氏提供の鮎の塩焼き。

